

## 関西部会 2026 年度部会研究会

### -----4 月部会研究会-----

【日時】 2026 年 4 月 18 日(土) 13:30~17:00

※13:00~13:30 に、部会理事・幹事による役員会を開催

【会場】 同志社大学今出川キャンパス良心館 3 階 305 教室

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「テクノロジーの進化がもたらす主体行動と顧客体験の変容」

テーマの趣旨: 生成 AI、センシングデバイス、AR/VR、ビッグデータなどのテクノロジーは急速に進化しており、それらのマーケティング領域への導入も進んでいる。このようなテクノロジーの進化が主体(企業・開発者)の行動にどのような変容をもたらし、また顧客にどのような新たな体験をもたらしかについて 4 名から報告を行う。

第 1 報告は、生成 AI の開発業務への導入による開発行動の変化について、AI 生成情報と開発者との対話の観点から考察する。

第 2 報告は、高等教育機関におけるデジタル教科書の導入において促進された、サービス享受者である学生の「学修」における行動変容に着目する。グレード制で生じる競争原理の中でも、自律的な学修者を中心とした共創コミュニティが構築される過程を考察する。

第 3 報告は、最先端テック・カンファレンス CES (2026) の報告をもとに、従来のビジネス概念を超え、様々な新しい現実へのトランジション(変容的移行)を確認する。

このトランジションを捉えた上で、マーケティングのあり方の変化・変容を次の 2 つのキー概念から辿る。

- ①テクノロジーナラティブ(テクノロジーが持つ世界観としての語り)、
- ②戦略的オフアリング(自社単独ではなく、異なるアクターとの組み合わせ)

その上で、

(3-1) 報告は、最先端テック・カンファレンス CES での先端テック企業の事例および AI の動向について報告する。

(3-2) 報告は、ビジネス・エコシステムにおけるトランジションを取り上げる。

13:30~13:35(5 分)

本日の概要

廣田章光(流通科学大学 商学部・近畿大学 デザイン・クリエイティブ研究所)

13:35~14:20(報告 35 分、質疑 10 分)

報告(1)

「言われてみれば」を誘発する AI 生成情報と開発者の対話」

報告者: 廣田章光(同上)

14:25～15:10(報告 35 分、質疑 10 分)

報告(2)

「デジタル教科書導入と学修行動の変容」

報告者：瀬良兼司（日本大学 商学部）

休憩（10 分）

15:20～15:55(35 分)

報告(3-1)

「テクノロジーナラティブと戦略的 Offering I -先端テック企業の事例と AI の動向から」

報告者：朝岡崇史(株式会社ディライトデザイン代表取締役・法政大学客員教授)

15:55～16:20(25 分)

報告 (3-2)

「テクノロジーナラティブと戦略的 Offering II -先端テクノロジーによるビジネス・エコシステムの移行」

報告者：森一彦（京都先端科学大学 国際学術研究院）

16:20～16:40(20 分)

質疑

16:40～16:50(10 分)

事務局より案内